

計画段階評価の結果等一覧

実施箇所	解決すべき課題等、原因	達成すべき政策目標	複数案との比較	対応方針
<p>近畿自動車道紀勢線 すさみ～太地</p> <p>(和歌山県)</p>	<p>(課題等)</p> <p>(1) 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海・東南海・南海地震に伴う津波浸水により国道42号が寸断 ・国道42号は台風等の越波や大雨により過去に通行規制が発生 <p>(2) 医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次医療施設への速達性が未確保 <p>(3) 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域において観光客数が減少傾向等 <p>(原因)</p> <p>(1) 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道42号が津波浸水区域を通過 ・防災対策が必要な急峻な法面等が存在 <p>(2) 医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ネットワークが未整備であり、また国道42号は線形の厳しい箇所が存在 <p>(3) 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ネットワークが未整備であり、主要観光地へのアクセスに時間を要する 	<p>①災害時にも機能するネットワークの確保</p> <p>②地域防災に資する「いのちの道」機能の強化</p> <p>③高度な医療施設への速達性の向上</p> <p>④主要な観光資源などの連絡性を高め、周遊性を確保</p>	<p>[案1] 海側ルート案 (事業費約1,400億円)</p> <p><津波浸水区域を概ね回避しつつ、集落へのアクセス性を優先する案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の適応性：代替路、避難場所として機能するとともに、緊急出入口の設置が容易 ・医療施設への速達性：60分圏域人口が約2.6万人増 ・アクセス性：大阪～那智勝浦町の所要時間が約75分短縮 ・生活の利便性：集落からICまでの距離が近いことアクセス性に優れる 等 <p>[案2] 山側ルート案 (事業費約1,700億円)</p> <p><津波浸水区域を極力回避する案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の適応性：代替路として機能するが、主な集落からの距離が遠くなり避難場所としての機能は困難 ・医療施設への速達性：60分圏域人口が約2.6万人増 ・アクセス性：大阪～那智勝浦町の所要時間が約79分短縮 ・生活の利便性：集落からICまでの距離が遠くなりアクセス性に劣る 等 <p>[案3] 現道改良案 (事業費約1,400億円)</p> <p><現道である国道42号をできる限り活用する案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の適応性：代替路無し ・医療施設への速達性：60分圏域人口が約0.9万人増 ・アクセス性：大阪～那智勝浦町の所要時間が約60分短縮 ・生活の利便性：集落に近くアクセス性に優れる 等 	<p>海側ルートを選定</p> <p>(理由)</p> <p>海側ルートは、山側ルート・現道改良案に比べ、災害時の適応性、集落へのアクセス性等利便性について優れている。</p> <p>全ての政策目標の達成が見込まれ、「1. 災害時にも機能するネットワークの確保」「2. 地域防災に資する『いのちの道』機能の強化」「3. 高度な医療施設への速達性の向上」に特に優れている。</p>
<p>近畿自動車道紀勢線 新宮～大泊</p> <p>(和歌山県) (三重県)</p>	<p>(課題等)</p> <p>(1) 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海・東南海・南海地震に伴う津波浸水により国道42号が寸断 ・国道42号は台風等の越波や大雨により過去に通行規制が発生 <p>(2) 医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次医療施設への速達性が未確保 <p>(3) 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域において観光客数が減少傾向等 <p>(原因)</p> <p>(1) 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道42号が津波浸水区域を通過 ・唯一の幹線道路であり、多重性がない <p>(2) 医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ネットワークが未整備 <p>(3) 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ネットワークが未整備であり、主要観光地へのアクセスに時間を要する 	<p>①災害時にも機能するネットワークの確保</p> <p>②地域防災に資する「いのちの道」機能の強化</p> <p>③高度な医療施設への速達性の向上</p> <p>④主要な観光資源などの連絡性を高め、周遊性を確保</p>	<p>[案1] 海側ルート (事業費約1,300億円)</p> <p><津波浸水区域を概ね回避しつつ、集落へのアクセス性を優先する案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の適応性：代替路、避難場所として機能するとともに緊急出入口の設置が容易 ・医療施設への速達性：紀南病院～新宮医療センター間の所要時間：約24分短縮 ・アクセス性：新宮IC～大泊ICの所要時間が約22分短縮 ・生活の利便性：集落からICまでの距離が近いことアクセス性に優れる 等 <p>[案2] 山側ルート (事業費約1,500億円)</p> <p><津波浸水想定区域の極力回避する案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の適応性：代替路として機能するが、沿道から離れた山間部を通過するため、避難場所としての機能は困難 ・医療施設への速達性：紀南病院～新宮医療センター間の所要時間：約20分短縮 ・アクセス性：新宮IC～大泊ICの所要時間が約22分短縮 ・生活の利便性：集落からICまでの距離が遠くなりアクセス性に劣る 等 	<p>海側ルートを選定</p> <p>(理由)</p> <p>海側ルートは、山側ルートに比べ、災害時の適応性、集落へのアクセス性等利便性について優れている。</p> <p>全ての政策目標の達成が見込まれ、「1. 災害時にも機能するネットワークの確保」「2. 地域防災に資する『いのちの道』機能の強化」「3. 高度な医療施設への速達性の向上」に特に優れている。</p>